

みどりのゆび

諏訪中央病院グリーンボランティア通信 No.115号 2020年9月2日発行

2020年度の活動について

【コロナ禍の活動】新型コロナウイルスの感染拡大により様々な行事や活動が中止となる中、グリーンボランティアでは、放っておけば草茫々の庭になってしまうことから、病院側と相談し、感染防止に充分注意して活動することになりました。感染リスクの少ない野外での活動ですが、マスク着用、社会的距離をとっての作業とし、ランチは無し、さらに非常事態宣言下の4、5月はミーティングも無しとしました。また、病院にウイルスを持ち込まないことを最優先と考え、4、5月と来客の多い8月は参加条件として、直近2週間は感染多発地域との往来のないこととしました。

【活動の範囲と庭作りを考える】昨年度の終わりに、約10名の仲間が退会され、人数が少なくなったことから、今までの庭の維持管理を見直すことになりました。病棟内の中庭（待合前、図書室前、緩和ケア病棟）の管理からは手を引き、維持管理の対象は東西のハーブガーデンと3階の屋上ガーデンのみになりました。また、長年庭作りを先導してこられた菰田さんが退会されたことから、どのように庭作りを進めたら良いかについて顧問の萩尾先生の助言を得て、庭作りを考える分科会（名称は未定）を立ち上げました。メンバー（現在9名）は、月に2回くらいのペースで話し合っていますので、興味のある方、ぜひご参加下さい。飛び入り歓迎です。 [入江]

萩尾エリ子先生を迎えて学習会開催

3月の学習会が中止となり、6月3日（水）に庭を巡りながら先生からお話を伺うことができました。ここは五感の庭であり、虫や植物や人、さまざまな命と共存していく庭であること。庭を守るのは私たちボランティアの役目であること。それぞれのハーブについてのお話、利用法、また、ローメンテナンスで庭を手入れしていく方法などを教えていただきました。



小さな花束の力

新型コロナ感染の緊張と不安に包まれていた今年の春、病院の庭に来てみると、庭は緑の光に満ちあふれ、小鳥がさえずり、花々が咲き始めていた。その光景に緊張がほぐれ、自然の移ろいに心を奪われた。その美しさを分かち合いたいと、ここの庭の草花を摘み、小さな花束を作り、院内のロビーで販売させていただくこととなった。

6月の毎週の活動日、作業の前に有志数名が花を摘み、香りのハーブを入れて束ねた。収益は諏訪中央病院で日々感染予防に気配りされ、お仕事されている方々に感謝をこめて寄付をするということでご賛同いただいた。コロナ禍で閑散としたロビーに花の香りが漂い、笑顔で花束を買い求めてくださった方々、ご協力くださったすべての皆さまに感謝!! [高橋(京)]

新しいメンバーです

- ☆夫が透析でお世話になり出して2年になります。時々、透析後にハーブ園でお弁当を食べて、素敵な庭に癒されていました。少しでもお役に立ちたいと、4月から仲間になりました。 [小野里綾子]
- ☆原村に移住して12年。小さな畑を借り、庭も少し造っています。以前は自然農の田んぼも。我が家の庭は毎夏、草勢に完敗しています。活動を通して何かのお役に立てれば、嬉しいです。 [加藤津恵子]
- ☆草花を育てるのが好きで、何かお役に立てればと思い、参加しました。自宅でも宿根草を中心にガーデニングを楽しんでいます。初夏のこの時期は雑草との戦いです。皆様と楽しく作業をしたいと思っています。 [刈谷さかえ]
- ☆原村に住んでいます。以前訪れた時に、入院されていた方が「癒されるなあ」と仰っていました。患者さんが気持ちよく過ごせる庭を育てるお手伝いができることが嬉しいです。 [久保田苗美]
- ☆原村に来て33年になります。グリーンボランティア発足当時は子育て真っ盛り、草花には関心がありませんでした。雑草だらけの庭ですが、今では庭仕事に興味の一つです。猫の手程度のお手伝いですが、よろしく。 [田村よもぎ]

コラム No.11

マタタビ? マタタビ!

マタタビの花、見たことがありますか。かすかに甘い香りがします。果実を熱湯に浸して乾燥したものは中風、リウマチ、強壯に効ありだそうです。名の由来は食べるとまた旅ができるからとする説あり。和名は分かりやすい…と思ったら、アイヌ語のマタタムブから由来しているのが有力な説らしい。マタは冬、タムブは亀の甲の意味で虫こぶの実をいう。



ひと月ほど前、マタタビを手の届くところに見つけ、花を知りました。以前ネコが暮らしの中にいた時、マタタビの粉末をあげると、よだれを流し、うっとり、でれーっとしていました。猫にマタタビ!

ケニアで野生動物の観察にはまりました。ゲームサファリと言われています。この「サファリ」、なんと「旅」という意味があるのです。偶然。ゲームは野生動物のこと。ライオンと猫はしぐさがそっくりでした。ライオンはネコ科? ネコ族? マタタビの粉を袋に入れ、サファリカーの後ろに下げてまきながら走りました。本気でしたが、思惑は外れました。ライオンを見つけてから、マタタビをまいたら良かったのでしょうか。本当は野生に手を出してはいけないのですが、ライオンがでれーっとするのを見たかった! [仲野]